

紙面から

市議会の議会構成が決定 3
 4月から
 病後児保育を始めます 4
 けんこうだより 7
 4月18日
 多摩川・浅川クリーン作戦 8
 新選組フェスタin日野4月のご案内
 ゆかり館オープン・ミニSLが登場 12



「おもてなしの心」で 活力ある市政運営を

新年度を迎えるにあたり、市長から所信が表明されました。今号ではその概要を紹介します。



平成16年第1回定例会
の開会にあたり、市政への
所信と新年度事業の骨子を申し述べ、
議員各位ならびに市民の皆様へ、
一層のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

日野市長
ひろし
ほし
な

平成16年度 所信表明

基本姿勢

私が幅広い市民の皆様のご信任を得て、日野市長の職を担わせていただき、8年目を迎えます。平成9年に就任して以来、3つの基本「市民参画」「環境にやさしい」「経営感覚」を貫き、「次の世代に美しいふるさとを渡そう」をスローガンに市政運営に邁進しているところであります。

今年度の市財政は、平成11年度から受けてきた普通地方交付税が見込めない状況にあり、行財政改革をさらに推進させなければなりません。加えて、市民ニーズに合わせた組織改正を行い、新たに「子ども部」や「地域協働課」創設のほか、福祉と税部門の総合窓口化によるワンストップサービスを目指します。

経営面では、民間でできることは民間にお願いするという基本を旨とし、中学校給食の民間委託の拡大に加え、福祉事業団の民間移譲への取り組みなど、さらに積極的に進めます。

健康・福祉の分野では、「日野人げんき」プランのもと、パワーリハビリテーションなど寝たきりゼロ施策を進めるとともに、障害者の自立支援ならびに共生社会への方向を整えます。

環境面では、市民とともに実施したごみ改革が評価され、環境大臣をはじめ経済産業大臣、総務大臣から表彰を受けました。日野市民はもとより、職員にとっても名誉なことであり、これからも水や緑を含めた「環境にやさしいまちづくり」に力を注ぎます。

甲州道中「日野宿」開設400年の今年は、新選組の年でもあります。「新選組フェスタin日野」各会場に訪れる観光客を「おもてなしの心」でお迎えするとともに、日野市を全国にPRする千載一遇の機会ととらえ、市民各界との協働により対応していきます。まちの活性化はもとより、市民意識の高揚にもつながるものと確信していますので、よろしくご理解・ご協力をお願い申し上げます。

1 パワーリハビリテーションの充実と女性専門相談で健康増進

高齢者の介護予防と健康づくりには、パワーリハビリテーション事業は、介護予防、自立支援の手法として大きな効果を生み出し、身体的にも精神的にも向上が見られるため、事業の充実を図っていきます。さらに、高齢者の健康づくりと閉じこもり防止のため、さわやかな健康体操を広く展開していきます。

女性の健康に配慮
新たな事業として、女性特有の心身不安に対応するため、専門医による「女性なんでも健康相談事業」を始めます。

2 「ひのつ子すくすくプラン」で子育て支援、待機児ゼロを目指して

子ども家庭支援センターの増設、乳幼児医療費の4歳未満無料化など、子育て支援策の充実

昨年7月、国が定めた「次世代育成支援対策推進法」に基づき、行動計画「ひのつ子すくすくプラン」を市民参画で策定し、子育て子育て支援策の充実を図ります。子ども家庭支援センター増設に加え、乳幼児医療費の4歳未満無料化など、子育て不安解消への新たな一歩を踏み出していきます。

待機児ゼロを目指し保育園を新設、定員を拡大
保育のさらなる充実に取り組み、4月から高幡地区で保育園(定員104人)を新設します。

また、既存の保育所・認証保育所でも定員を拡大(45人増)、さらに豊田地区で認証保育所を年内の開設に向け準備を進めます。



西部子ども家庭支援センターオープンイベント(3月20日)

3 快適で安全な学校環境と地域環境を目指して

耐震補強工事・トイレ改修を継続、下校時の安全パトロールを新たに実施
小・中学校施設整備計画で優先事業に位置付けている耐震補強工事とともに、トイレ改修など環境衛生工事を引き続き行い、校舎の

耐震補強工事については、平成18年度の全校完了を目指します。また、児童の安全を図るため、下校時の安全パトロールを続ける一方、小学校全校に防犯カメラを設置し、学校施設内の安全確保に努めます。

併せて市民が地域で安心して暮らせるよう、「地域の安全は自分たちで守る」という意識の啓発や、地域の自主的な活動を支援し、安全・安心なまちづくりの環境整備に積極的に取り組みます。

4 若年者や中高年者に雇用の場を提供

厳しい雇用情勢に配慮
調理師の養成や保育・介護施設の充実にあわせ、18歳〜25歳の若い方々の雇用支援事業を展開します。臨時職員として雇用し、その経験を新たな就職活動に生かしていただくものです。

中高年については市政嘱託員として、高齢者については新選組フェスタや安全パトロールなどで雇用の拡大が見込まれているところです。

5 日野市まちづくり条例の制定に向けて

まちづくりマスタープランの実現を
(仮称)日野市まちづくり条例の制定については、平成14年度から市民参画で取り組み、農地、用水及び緑地の保全や大規模な土地利用転換への対応策、市民活動支援の充実などを盛り込んだ内容となっています。平成16年度中の議会に上程し、審議をいただく予定です。

6 中央公民館等建て替えへの準備

周辺環境と土地の有効活用に配慮
中央公民館は、建設から37年が経過し、老朽化が目立ってきました。今後の公民館活動を充実させるためにも、施設の建て替えは重要な課題です。建て替えにあたり、周辺環境や土地の有効活用等を考慮し、実現に向けての事前準備調査を行い、基本的な方向性を探っていきます。

7 新選組フェスタを将来のまちづくりに活用

「新選組のふるさと日野」をまちおこし、意識おこしにつなげよう
「新選組フェスタin日野」が千客万来の観光客でにぎわうよう、全力で取り組む所存です。フェスタが終了するころには、間違いなく「あの新選組の日野ですよ」と誇りを持って日野市を説明できるようになると思います。ひいては市民の意識おこしにつながることを確信しています。訪れる人たちの厳しい視点、「日野市」は良い、ここは変えたほうが、など率直な声に耳を傾け、これからのまちづくりに生かしていきたいと考えています。